

## 全国小中高の休校要請発表への対応について

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、安倍晋三首相は2月27日(木)に全国すべての小中高と特別支援学校について3月2日(月)から春休みに入るまで臨時休校するように要請しました。また羽生田光一文部科学相は2月28日(金)、休校の時期や期間について、「地域や学校時の事情を踏まえて様々な工夫があって良い。全国の皆さんの声を聴きながら柔軟な対応をしていきたい。」と述べ、各地の教育委員会などで柔軟に対判断するように求めました。

これらの発表を受けて、今後のみどりの寺子屋の対応は以下のようにします【2月28日(金)11時現在】。

- ①通常通り営業します。春期学習教室については学校の動向を見て実施するか判断します。
- ②ウイルス対策としては、これまで通り消毒と、健康指導を徹底します。
- ③この期間、お休みを希望される方はお手数ですがご連絡ください。その場合、当然お月謝は発生いたしません。また、今在籍しているレッスン曜日、時間は3月いっぱい確保いたします。

※2月21日(金)に発表させていただきましたが、春休みの横浜合宿は中止とさせていただきました。また、以降のイベントに関しても当面見合わせます。

※状況が変化し、変更等があった場合はみどりの寺子屋HPに掲載します。

各ご家庭でご判断いただきたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

## みどりの寺子屋の考え方

いろいろな震災が起こった時、そして今回の事例を見ても、国、政府の対応については様々な意見があると思います。ですが、少なくとも国がいつでもきめ細かく個人を守ってくれる、何でもやってくれる、ということはないと思います。いつの時代でもそうだと思いますが、誰かに頼るのではなく、まずは自分のことは自分でやり、自分の身は自分で守る、という意識が重要だと考えます。それは訓練して身につけるものです。いつからかそれらの意識が薄れ、何でも誰かがやってくれる、と錯覚し、その結果、力をつける努力を怠り、問題が起こったときに対処する力がなくて混乱する、ということになってしまっていると感じます。

何でもやってもらい、何でも与えられ続けていれば、脳は、誰かが何とかしてくれる、ということ学び続けることとなります。結果、当然責任感など身につきません。誰かがやってくれるという考え方と、上手くいかなかったときは他人のせいにする、という利己主義、自己中心的な考え方が身につきます。脳は学んだように学んでいき、脳が思った通りの自分になろうと力を注ぎ続けることになるのです。自立して生きる力をつけるためには、許容できる程度のある程度リスクを取りながら鍛える必要があるのです。何でもやってあげることが子どもたちのためになるわけではありません。

みどりの寺子屋は、その理念にあるように、自分で考える力、判断する力、行動する力を鍛え、社会で自立して生きていく力を養うきっかけ、環境を提供し続けることが目標です。この機会に、と言うと不謹慎かもしれませんが、自分で考え、決断し、行動する力を磨けるよう、各ご家庭でも工夫していただき子どもたちを鍛えて欲しいと思っています。不安だ不安だ、と言っているても何も解決することはありません。できることをやるべきだと考えます。

私たちが中学生の頃、『テスト範囲表』はありませんでした。時期が訪れたら担当教諭が試験範囲と提出物と期限を発表し、各自メモを取り、各自で対応したものでした。今はご丁寧に範囲表があり、そこにすべて詳細に書かれています。それに関わらず、テスト範囲表を持ってこない、範囲も頭に入っていない、明日のテスト教科の教材すらも持ってきていない生徒さんもいます。便利さと引き換えに、子どもたちの考える力や判断する力を身につける機会が減少していると強く感じます。

成績を上げたい気持ちは良くわかります。ですが、成績が良かろうと悪かろうと、テスト範囲は覚えることはできるでしょうし、持ち物の管理もやればできるはずですが、その誰にでもできる当たり前のこと、を疎かにし、成績を上げたい、と言うのは本末転倒です。現在の成績評価は相対評価ではなく絶対評価ですから、わかりやすく言えば、テストの成績が悪くても、授業を真面目に聞いて提出物をきちんと出していれば『1』はつきません。順番が違ふのです。まずは朝自分で起き、自分で自分の荷物を管理し、挨拶をきちんとし、靴をそろえ、時間や約束を守ることです。できない、と言って誰かのせいにするのではなく、自分にできること、を徹底してやることです。やってもいないのに、また、自分にできることもやろうとしないで、できない、と言うのは筋違いです。誰かやってください、どうかしてください、と言っていることと同じです。それで自立して生きていけるのでしょうか。

当たり前のことはやりませんが、スマホやゲームは人一倍力を発揮します。スマホやゲームを否定するつもりはありません。ですがそれらのぬるま湯にどっぷりつかってしまえば、ちょっとした勉強も苦に感じてしまうことは当然です。『何かを得るためにはそれ相応のリスクを受け入れ代償を払う必要がある』ことすらわかっていない子もいます。便利になった世の中の代償でしょうか。夜遅くまでそれらに夢中になり、睡眠時間が少なくなり、学校の授業では寝ている…。免疫力が低下し風邪やインフルエンザに…。それを週1回程度の寺子屋やマスクだけで補おうと考えるのです。教科の学習だけでなく、マスクの正しい使い方、ウイルスの大きさ、手洗いの効果、免疫力を高める食材や方法…。知りません。小腸の基本的な働き、腎臓が何なのかどこにあるのかも知りません。3月20日の祝日もわかりません。その子が悪いのではなく、その子の考え方と取り組む順番が間違っているのです。

そういった現状の子どもたちが、これから目標なく1ヶ月を過ごすことを考えるととても恐ろしいと思います。成績を上げること、受験に合格すること、は大切なことです。ですが寺子屋は、自分で目標を設定し、自分で最後まであきらめずやり抜く経験を積み重ねさせたいのです。人として当たり前のことを当たり前にやる力を鍛えたいのです。それらを通してたくさんの失敗と成功を経験させたいのです。それらの積み重ねが、結果として成績を向上させることにつながるからです。そしてそれぞれの経験を通して感じた感情が『思い』を膨らませ、自分の未来、日本や世界の未来のことについて考える力、人としての人間性を高めることにつながると確信しているからです。

ただ学校に行き、単位を取り、卒業することはできるでしょう。ですが、それらは社会に出て自立して生きていくための本当に最小限の知識や力に過ぎません。学校や会社、国が直接何かを与えてくれるわけではありません。まして幸せを与えてくれるわけではありません。やってくれるわけでもありません。環境を整えてくれているに過ぎないのです。自分の人生は、誰かが決めるのではなく、自分の力で考え、決断し、行動し、切り開き、作り出していくものです。力が必要です。その実現のために今、生徒さんそれぞれに必要な力を高めることに全力を注ぎます。積み重ねが必要です。一発で解決する魔法の薬はないのですから。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

2020年2月28日  
みどりの寺子屋 代表 緑川慎吾